

議 事 要 旨

会 議 の 名 称	第1回 東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会	
開 催 日 時	平成28年10月25日(火) 午前9時30分～	
開 催 場 所	東金市役所第1委員会室	
委 員 長 氏 名	石田路子	
出席者(委員)氏名	前嶋里奈、石田路子、鎗田敏光、佐久間一夫、上木名慧子、鈴木小知子、山下恵子、川嶋正明、永田乙彦、遠山みつ子、片桐昭泰、植松孝子、今井宏美	
欠席者(委員)氏名	三須芳雄、岡崎信彦	
事 務 局	東金市 中村、石渡、遠藤、宇野、漆島 東金市社会福祉協議会 荻野、北田、石井	
その他の出席者	守屋、山下(計画策定業務委託事業者 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所)	
会 議 事 項	1. 議 題	会 議 事 項
	1 開会 2 市民福祉部長あいさつ 3 委嘱状交付・委員紹介 4 委員長・副委員長の選任について 5 委員長あいさつ 6 議事 (1) 報告事項 ① 東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の方針について ② 現行計画における事業実施の評価について ③ 市民アンケートの調査結果について ④ 東金市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定懇話会の実施結果について ⑤ 地区別の状況について (2) 協議事項 ① 東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念及び基本方針について 8 その他 9 閉会	別紙のとおり
議 事 の 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料	・ 第1回東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会次第 ・ 東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会設置要綱 ・ 東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会委員名簿 ・ 東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会傍聴要領 ・ 東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の方針及び工程	

第1回 東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会 議事要旨

	<ul style="list-style-type: none">・東金市地域福祉計画・地域福祉活動計画の実績・評価・東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画改定のための市民アンケート調査結果報告書・東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定懇話会実施報告書・東金市内における地区別の状況・東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念と施策の体系・東金市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成24年3月策定・概要版）
--	--

議 事 要 旨

発 言 者	議題・発言要旨及び決定事項
事務局	[開会] 進行
中村部長	[市長あいさつ] (代理：中村市民福祉部長)
川嶋会長	[東金市社会福祉協議会長あいさつ] 川嶋会長
事務局	[資料確認]
	委員紹介]
	[事務局紹介]
	委員長、副委員長選任] 本委員会は設置要綱第5条第2項の規定によりまして、委員長及び副委員長は委員の互選により選出することとなっております。 そのため、委員の皆様による互選をお願いしたいと思いますが、どなたかのご推薦はございますでしょうか。
委員	[「事務局一任」の声あり]
事務局	事務局一任の声がございましたが、よろしいでしょうか。
委員	[「異議なし」の声あり]
事務局	千葉県地域福祉支援計画、他市での地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定に携わり、本計画に大変精通していらっしゃることから、委員長には石田委員、副委員長には片桐委員をお願いさせて頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	[「異議なし」の声あり]
事務局	ご異議ございませんようですので、委員長に石田委員、副委員長に片桐委員とさせていただきます。
委員長	委員長あいさつ] 改めまして、今回委員長ということで、務めさせていただきます城西国際大学の石田でございます。どうぞよろしくお願い致します。

第1回 東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会 議事要旨

委員長	<p>第2次ということでございます。第1次の策定にも関わらせて頂いたんですが、時間の流れがあまりに速い。これから、この2次が決まって、その5年後、どんな東金市になっているかというのはちょっと、わくわくするようで、やや怖いようなそんな気も致します。</p> <p>ただ、大変大事な計画でございますので、委員の皆様方のお力を頂きながら、きちっと、しっかりしたものに作っていききたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。</p> <p>[設置要綱第6条第1項により委員長が議事進行]</p> <p>議事に入る前に、当委員会における審議内容についての情報公開に関しまして、議事録の公開及び傍聴について、事務局に確認をさせて頂きたいと思っております。</p>
事務局	<p>今回の委員会の議事録の公開及び傍聴についてご説明致します。</p> <p>平成14年1月、国の社会保障審議会福祉部会がまとめました市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉計画策定指針のあり方について、その中におきまして、地域福祉策定委員会は原則として公開とし、進捗状況について適宜公表するほか、広く住民等が傍聴できる体制を取るなどの配慮が必要であるとされておりますことを踏まえまして、本策定委員会の議事録については公開するものと考えております。</p> <p>ただし、議事録の作成につきましては、発言者が特定されない形、例えば「発言者A」という形で作成させて頂きたいと考えております。</p> <p>また、次に傍聴につきましては本日配布致しました傍聴要領により対応してまいりたいと考えております。</p> <p>[資料1-3説明]</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、早速ですが、議事に入らせて頂きます。</p> <p>皆様のお手元の次第に沿って、まず、事務局からは1の報告事項のご説明をよろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>本日は報告事項が4点、協議事項が1点ございます。</p> <p>[資料2-1説明]</p>
委員長	<p>今、事務局からのご説明がございましたこの計画に関する概要、方向性について、何か委員の皆様からご質問・ご意見等ございましたら、お手を挙げて頂きたいと思っております。</p>
委員A	<p>この委員会は3回開かれる予定になっておりますが、この3回の中で</p>

<p>委員長</p>	<p>私たちはどういうことをやればいいんですか。</p> <p>案が出てきて、それに対して意見を述べ合って調整するというイメージがある。そういうやり方ではないのかもしれませんが。そういうことも含めて、イメージが湧かないので、説明をお願いします。</p> <p>この委員会の役割のご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>第1回目として、現段階で市民アンケートや地域懇話会を開催した中で、市民の皆様が今考えていることを把握し、市の施策に照らし合わせ、第1次計画で定めてきたことも見ながら、いわゆる基本理念の部分を、今回お示しさせていただきます。</p> <p>ですので、今回は総論にあたる部分の案を作成させていただきました。それを委員の皆さんに検討頂いて、こういう方向でいいのではないかというご判断を頂いた中で、第2回については細かい計画の各論部分に入っていきたいと思っております。その中で、もっと突っ込んだ話をし、話が整った中で修正したものを第3回に提示させて頂いて、皆さんにご了解を頂きたい、ここまでが、事務局で考えている3回の内容です。</p>
<p>委員長</p>	<p>「第1次の地域福祉・地域福祉活動計画の期間終了に伴い、第2次の計画策定を始めます」と、そういう考え方でよろしいのですか。</p> <p>部長の話で「第1次計画の検証の上で第2次に入る」とありましたが、この資料の中で、第1次計画の検証が反映されている点も説明いただけるということで、よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、計画策定の主体、これはあくまでも東金市です。私どもが計画を作っていくということで、責任を持って作ってまいります。</p> <p>これから報告事項4点と協議事項1点を事務局から説明しますが、この計画を作るために事務事業の評価を行っております。(資料2-2)</p> <p>それから、この計画を作るためには市民の皆様がどういう意向を持っていられるかということ把握しなければならない。そのためにこのアンケートを行っております(資料2-3)。</p> <p>それから、策定懇話会も行っております。これは全地区、12地区で住民の方に集まって頂いて東金市の市民福祉の現状として「どういうものを持っているか」「もしくは課題として皆様が考えていることは何なのか」といったことを話し合っています。(資料2-4)</p> <p>この報告をまず皆様にさせていただきます。(資料は2-2以外事前配布済み)</p> <p>今日は、今回の計画の基本方針について、国からの指針などを前回の計画に溶け込ませて、東金市としての地域福祉計画をどういうものにしていくのか」を案(資料3)として作っておりますので、これについて協議を頂く形になります。</p>

	<p>この案を、皆様からのご意見、それから、庁内でも検討しておりますので、福祉部門以外の課も含めた意見も入れて修正してまいります。</p> <p>次回は各論として、実際にこれからどうやって事業を行っていくのかを出してまいりますので、これに対してまた市民の目線からこれは良い、悪いということをきちんと意見頂き、また修正しながらという形で、概ね3回で、修正を行っていきたいと考えております。</p>
委員A	<p>〔了解〕</p>
委員B	<p>こういう会で日頃の良い施策が決められて実施されていくのですが、市民の皆さんの立場で、自分たちの生活がどう変わって、良くなるのか、ここが分かりにくい。</p> <p>例えば、今安心して住んでいける地域のこととかという大きなテーマがございますよね。それが、例えば私が自分の家でこれから一生安心して住んでいける社会づくり、まちづくり、それはどういうものになるのかということが実は分かりにくい。それを最終的には分かる形にして市民の皆さんに提供して頂きたい。</p>
委員長	<p>委員の皆様方も本当に大変意欲的な、本当にいいものにしたいという、自分たちが実際に主体的に関わりつつ、この計画を進めていきたいというそういった思いが、非常に伝わってまいります。</p> <p>そういったご意見を頂きながら、これまでの5年間、一体どんなことが行われ、どのような成果につながってきたのかということについて、内容の説明を頂きたいと思います。</p> <p>では、事業実施の評価を含めまして、事務局のほうからご説明を頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>〔資料2－2説明〕</p>
委員長	<p>この資料2-2に関しまして、説明がございました。委員の皆様方から、ご質問とか、お気づきの点があるようでしたらお手を挙げてお願いします。</p>
委員A	<p>この評価ですけれども、全て「概ね実施できた」評価Aじゃないですか。これは自己満足しているだけではないかなという感じ。私の取り方が悪いのかもしれませんが。</p> <p>というのは、市民のアンケートの中で、「情報が欲しいよ」というのがすごく出てくるわけです。行き渡ってない、欲しいけれども、情報を受ける機会がない、というのが非常に多いんですね。そういうのを見ていて、なぜここで、情報提供が「概ね実施できた」となっているのかなと。</p>

<p>委員長</p>	<p>社協の検討内容を見ても、できた、できたとなっているんですけども、サークルなどに参加したいけど、情報がないからできないというのも結構あったような気がするんです。その辺をどう考えているのか。</p> <p>今のご意見も含めて、多分市民のアンケートで、その辺のことが出てくるのではないかと思います。</p> <p>事業として掲げられている項目については、「この事業も行っている」「この事業も行っている」という形の評価はあるんですけども、ご指摘頂いた通り、市民の手元にどこまで届いているかというところは、この市民アンケートとすり合わせるということが必要だと思います。</p> <p>委員Bからも、なかなか市民のところまで届かない現状があるというようなご指摘もございましたので、引き続き、アンケートのご説明を事務局のほうから頂くことでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>[意見なし]</p>
<p>事務局 委託事業者</p>	<p>[資料2－3説明]</p>
<p>委員長</p>	<p>お気づきの点とか、ご質問とかありましたら、委員の皆様方にはお手を挙げていただければと思います。</p>
<p>委員B</p>	<p>東金市のことを担当して調べて頂きまして、これはこれからの新しい5か年計画に載せていただけるのだと思います。</p> <p>ジャパン総研さん、こういう調査の手法につきまして、私は地域（計画策定懇話会？）に参加を致しましたが、これで何を求めているのかというのが私たちにはよく分からないんですよ。いろいろ地域でたくさんの情報を集められたと思いますが、これをどういうふうにして、東金市に良い、新しい施策をご提案願えますのでしょうか。専門的なことは私には分からないんですけども教えて頂きたいと思います。</p>
<p>委託事業者</p>	<p>今の時点での考え方をお示ししたいと思います。</p> <p>最初に皆様にご理解頂きたい点として、地域福祉計画及び活動計画は、行政がいろいろ作る他の計画とはかなり色が違うものになります。</p> <p>介護保険事業計画、障がい者の計画、あるいは総合計画という大きな計画などは、具体的に、あるいは直接的に「どういったものをやります」とはっきり書かれており、皆さんからのリアクションや、評価、数値目標などで、結果がはっきりと分かるものです。</p> <p>ただ、地域福祉というのは、非常にふんわりとしていて、計画の定義付けが非常に難しいと思います。</p> <p>この地域福祉計画に書かれている事業は、形通り見ますと「こういっ</p>

た施策をやりますよ」「こういうを事業やりますよ」というふうに書かれていますし、1個1個の事業についてしっかりとやることは当然です。ただ、この計画の場合、必ずしも数値目標があるわけではなく、100%のゴールを定めて、そこまでたどり着かなかったからどうこうというよりは、「地域の皆さんと一緒に何かをやっていくぞ」という考え方が全体の8割9割を占めます。

例えば11ページの間10「福祉サービスに関する情報の入手方法について」「情報が皆様のお手元にどういう形で届いていますか」という設問があります。これを見ますと、圧倒的に皆さんが情報を取得しているのは、「広報とうがね」という紙媒体が多いですが、これは言い方を変えると、市民の皆様としては情報を受け取る形が受動的である。いわば、自分から取りに行くわけではなくて来るのを待っているような状況です。

これは行政の会議であれば、「もうちょっと能動的に取ってもらえるようにしよう」とか、それを認めてしまって、「受動的に取られるのであれば情報量を増やそう」となるんですけど、この地域福祉の会議の場合は「情報を取得する仕組みを地域の中で作れないか」と考える。あるいは、皆様に、地域で行う情報の発信源に入っただき、そこで地域福祉をやっていただくことを考える。そうすれば、そこで情報も吸い上げられますよね。

このように、地域の中で行政課題となっているようなものを、肩代わりという言い方は語弊があるんですけども、地域でやっていただけるといったことをこの計画の中では考えていくことになります。

特に、今回の計画の中では地区社会福祉協議会ごとに分けた12地区の特徴、あるいはそれぞれが取り組むことを第1次の計画のとき以上に、より明確に位置づけたいと考えております。

従いまして、実務的なことを申し上げますと、それぞれのアンケートの結果に12地区の状況をはめ込みます（クロス集計）。そうしますと、地区ごとに、例えば、広報とうがねは全体的に多いと思うのですが、ある地区は皆さん広報とうがねをよく見ているけれど、ほかの地区は、逆に広報とうがねを全然見ていなくて、ホームページばかり見ているとか、様々な様相が出てくると思います。

今回のアンケートについては一度12地区のクロス集計を実施致します。また、懇話会の中で地区ごとの課題、そしてその課題に対して、「こういうことをやりたいね」「こういうことができたらいいね」という意見を出して頂きましたので、その結果を上乗せして、計画書の中には、課題に対して各地区の取り組みを入れていきます。

皆さんだけではできない行政的な課題とか、どうしても必要な支援がありますので、それについては社会福祉協議会、あるいは東金市として支援をしていきますよというように、1次のときと比べて地域の皆さんが主役の計画を今回は作らせて頂きたいと思っておりますので、その

<p>委員長</p>	<p>お手伝いができるような計画をこのアンケートあるいは懇話会の中から導き出していきたいと考えております。</p> <p>ご説明が長くなりましたが、一言でいえば、今回は各地区の特性というものを徹底的に洗い出していきたいと考えている次第です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>詳細にいろいろな調査が行われ、その経過が一応こういう形でまとめられています。今ジャパン総研さんからご説明がありました。</p> <p>計画策定懇話会についての資料 2-4 についての説明はもう一度事務局から説明を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>事務局</p>	<p>[資料2-4説明]</p>
<p>委員長</p>	<p>資料の概要をご説明頂きましたけれども、委員の皆様方、いかがでしょうか。</p>
<p>委員B</p>	<p>地域を分けて、地域特性というご説明がありましたけれども、東金市は、今分類して頂いた地区ごとで地域特性を分析されるのは、大きな括りすぎだと思います。</p> <p>私は今老人クラブの分野でございますが、今私たちが福祉ということを考えますときには歩いてこられる地域づくりです。ですから、東金にはそういう分類でいきますと、70以上の地域があります。そこを原点として捉えておいて頂きますと、できたものが実態に合わないことになる可能性があると思います。前もって、ご存じだとは思いますが、申し上げます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。あと、委員の皆様から何かご意見は。</p>
<p>委員C</p>	<p>ジャパン総研さんの今の説明がプロフェッショナルすぎて、本当に東金市の計画を立てられるのかなと思ってしまったのは私だけではないんじゃないかなと思います。</p> <p>それで、今委員Bがおっしゃったように、やはり、この東金市の実情にあったその計画を立てて頂きたい。それで、市は「市としての計画を出します」と、冒頭に部長から説明がありましたけれども、私たちのこの会議はあと2回、私たち委員が実際に何をすればいいのかなという疑問もあります。</p> <p>もう1点、追加資料を今日頂いた中の2-3と2の関連というところの最初のデータですけれども、アンケート結果に基づく結果ということですので、もしこういった内容が実際に統計でまた別の数字が出ているならば、それもきちんと示す必要があると思います。これがあくまで参考であるならば、ほかの数字をお持ちであれば、それも出して頂くのが適</p>

<p>委員長</p>	<p>当ではないかなというふうに思いました。</p>
<p>委員A</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の提案を伺いまして、いろいろやっていきたいと思いますということが出てくるんですね。何をやるにもお金がかかるわけですね。それで、できるだけお金のかからないように地域の方に積極的に出してもらって、それでやっていこうよということなんでしょうけれども、お金はかかります。この計画に対して、財政があとをついていけるのかと。</p> <p>それと市民が望んでいるのは「市役所が積極的にリードしてくれよ」と、アンケートに出ているんですね。今の実態を見ますと、ジャパン総研さんに計画をお願いして、実施は社協でやると。両方民間ですよ。民間でやるよりも、市民は役所が声を掛けてくれるとやる気になるんですね。</p> <p>ですから、市がこれに応えられるような財政と人と、発破かける人間ね、そういった人に頑張ってもらえるように。今後回を重ねていくと出てくるかもしれないですけども、そういうことを感じています。よろしくをお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>今のご意見について、私なりに簡単なお説明を付け加えさせていただきます。</p> <p>東金市は幸いなことに地域福祉計画と地域福祉活動計画と一緒に進められているというのが、特色でもあり、有利な点もたくさんございます。今おっしゃったような財源も含めた計画は市が立て、そしてその実践としての活動を、社協が主体の活動計画として住民とともに動いていくという、これが同時に進むという形でリンクしています。</p> <p>いろいろ経緯もありますが、ほかの自治体では別途にこの計画が流れている、また、時期も全然違って進んでいる自治体もあるんですけども、東金は、がちと組んで、同時に進められているという特色が1つあります。</p> <p>今回の第2次の計画の特色ということで、ジャパン総研さんからのご説明の中にありましたが、地区を12地区に分けて、その地区の特色を非常にクローズアップしている。これは1つ大きな特色です。委員Bに言わせるとまだ「まだ大きいよ、もっと小さい単位で」と、ただし、こういうふうに1つの自治体をいろんな地域に分けて細かく分析していくという手法は、他の多くの自治体の地域福祉計画の中ではあまり行われていないんですね。</p> <p>案外市民の人に言わせると、「計画は立っているけど、福祉計画やらなんたら計画やら、たくさんあるけど、それはいったいどういうふうにするんだろう」「実際に自分の生活のところにどう影響があるのか、少しもぴんとこない」というのが大概のところですよ。それで、それを一段</p>

進めて、市民の皆さんの生活に踏み込んで、より細かなエリアごとにまず分けていく。そうすれば、今委員Bのおっしゃったような自治会単位ぐらいの人たちの生活がより見えてくる。東金市で見るよりは、例えば田間地区という形で見たほうが、その自治会の活動もより近くで見えてくるということになり、これは1つ大きな進展です。

そういったことができやすいのは、実は人口があまり大きくない自治体で、そのほうが人と人との関係などを把握しやすいということで逆に有利。人口減少ということで、「消えていく自治体」などが言われている時期に、逆に逆手を取るといいますか。「だからこそ、うちはあることがある」というようなことで、「東金ならではの地域福祉、地域福祉活動の特色を出して今回はやっていこうではないか」という方向性が今事務局、ジャパン総研さんのほうからも打ち出されているのではないかとこのように思っております。

それで、このようにいろんなご意見を吸い上げて、これから地域ごとの分析に当たり、それからニーズ、やれるところ、やれないところ、まだ全然手をつけていないところ、あるところでは「もう自分たちがやるしかない」ということで住民の皆さんが実際に動き出しているところもあつたりするんですね。そういったところも地域の資源として発掘していきながら、今この計画を次の5年間に向けて、希望を持ちながら進めていきたいなというふうに、私自身はそう思っております。

そのためには、こういった綿密なデータをたくさん出して頂きまして、この中から良いところ、悪いところ、いろいろ抽出して分析していく。地域の皆さんたちも、改めて自分の住んでいる地域の課題を把握しながら、どこをどのように解決していったらいいのかということの本気になって考えて、実践していただければいいかなと。そのために第1次計画の5年間があつたのかなとも思います。

一応、5年間で田畑を耕してきましたので、そろそろこれから、よりよい種を植え、しっかり収穫をしていこうという次の5年になるのではないかなと思っております。

今まで、皆さん方に、これまでの東金市の計画、そしてどこまでやられてきたか。そして、しかしなお残る地域の課題がどの辺にあるかということについて、一応総ざらいで集めてここに集約して頂いたわけです。

ですから、今後の方向性として、また委員の皆様方にあと2回お集まり頂きますけれども、そのころにはさらに分析して頂いた中で、それぞれの地域の個別の問題点をどう解決していくか、今度は方法論を含めて、どこで誰がどのようにやるかという具体的な内容も検討して、また皆さんに提示されていくと思います。

その辺をぜひ揉んで頂いて、「これならいけるぞ」「いや、それはもうちょっといい方法がありますよ」というようなことがあつたら、ぜひ皆様方から前向きなご意見を頂き、この第2次計画策定を進めていきたい

	<p>と考えます。そして、次年度からは、本当に魂のこもった計画運営となっていていいのかなと思っております。</p> <p>ここまでで報告を終了させて頂いて、次に協議事項に移らせて頂いてよろしいですか。</p> <p>[意見なし]</p>
<p>委員長</p>	<p>それではまた事務局からご説明をよろしくお願い致します。</p>
<p>事務局</p>	<p>[資料3説明] 両計画における計画の基本理念及び基本方針</p>
<p>委員長</p>	<p>資料3、これが計画の冒頭にくる基本的な方針、方向性ということですから。基本方針として4つの柱が立てられております。</p> <p>この先の細かな内容につきましては、今後、お目通し頂いた資料を分析しながら少しずつ肉付けされていき、また皆様方にお諮りしていくということですが、ここまですべて何か、次の方向に向けてのご要望でも結構です。ご意見がございましたら、手を挙げていただければと思います。</p>
<p>委員D</p>	<p>2つあります。1つは文章表現上の問題ですが、概要版も含めまして、例えば、「支えあう(支え合う)」という言葉や「一人一人(一人ひとり)」は、漢字になったり、平仮名になったりしていますので、ぜひ統一をして読みやすいようにしてほしいと思います。</p> <p>それから、内容ですが、この基本方針の4です。先ほども話がありましたけれども、地区別の計画をと考えておられるようですが、結局福祉というのは、さっき意見がありましたけれども、人材と物、金なんですよね。いろいろとアンケートしても「人材がない」「金が足りない」ですから、これを作る場合に基本となることを、しっかりと人材と金の面で支援をしていくと。これが大事だと思います。</p> <p>資料2-2にこの地区計画の主体となるのが例えば、地区社協というような話がありましたけれども、この資料2-2の15ページを見ますと、地区社協の活動、私も東金に住んでいてよく分かりますが、とても不十分なんです。ですから、これを主体にと、若干形を変えても、地区別の計画をどのように作るのか、これは大きな課題だと思いますね。</p> <p>この計画も含めて、私たちが注意しなければならないのは計画が目標であってはならない。ゴールではなく、あくまでスタートです。ですから、計画を一生懸命作って出すけれども、存在を知らない市民がまたいっぱい出てくるのはあまり意味がない。この計画が市民に実感として「なるほど、生活が変わったな」というふうにならないと計画の意味がないので、進行管理をきめ細かにやって頂きたい。</p> <p>ただできて、1年後、5年後に評価しましたというのではなくて、細</p>

<p>委員長</p>	<p>かくやって、中間に発表・報告をする、こういうのがないと。計画は棚の上に上がっているということになっては困ると思うんですね。一例として地区別の計画を出しましたけれども、人と金この辺を中心に据えてどういう計画を策定していくのかということが大きな課題だと思いますけれども、どうでしょうか。</p> <p>今のご意見も踏まえて、今後の活動の報告事項の中にもこれを含めていただければと思います。</p> <p>ほかに委員の皆様から何かございますか。</p> <p>内容的にはご検討頂くのはここまでですけれども、委員の皆様から一言ずつコメントをいただければと思います。</p>
<p>委員E</p>	<p>資料3についてはこれからいろいろ検討して、また次回の委員会で出てくると思います。実際にこの地域福祉計画と活動計画について、1次のと比べてかなり考え方も違ってきているし、かなり踏み込んだ形のものができるんだなとすごく期待しています。</p> <p>ただ、そういう中で、何点かあるんですが、1つはアンケート調査の回収率なんですけれども、今回約35%ということで、前は約50%の回収率があるんですけれども、回収率が低い。それから、地区の懇話会についても、どういう参加者や人数でやっているか分からないんですけれども、参加者の偏りがあるんじゃないかなと。それと、回収したアンケートの年齢別ですけれども、やっぱり50代、60代、70代が中心で、若い方の回収率がものすごく低い。実際にどういう年齢の方にアンケート調査を出したか分からないんですけれども、やはりこれから東金市が発展していくためには若い人たちの意見もすごく大切だと思います。</p> <p>それで、12地区に分けてヒアリングとかもあると思うのですが、できれば、若い学生さんとか、もっと若い子どもたちにヒアリングとか、未来の東金をどう作りたいとか、どうしたらいいのかという考えを聞く場もぜひ設けてほしいなど。</p> <p>これからの東金ということで、自分もある程度の年齢にいますけれども、高齢者ばかりの話になるので、もっと若い方の意見を入れてくれたらいいと思うんです。よろしくお願いします。</p>
<p>委員A</p>	<p>次回以降、委員会ごとに目標を整理して提案していただけると。その委員会ごとに何をやればいいのか、「今回こういうことを検討してもらうんだよ」ということを絞ってご提案頂ければなと思っています。</p>
<p>委員F</p>	<p>「支えあってぬくもりあふれるまち東金」、本当に一言でいうと、素晴らしい言葉の羅列がすごくて。</p> <p>私は母子保健推進協議会をやっておりまして、やはり児童が少なくな</p>

<p>委員G</p>	<p>っていってるんですけど、自分たちの地域だけを訪問しても、アパートにいる方、外国の方たちが多くなってきて、それもシングルマザーとか、訪問も難しいんですよ。この間は大家さんとちょうど一緒に立ち会ってもらってお話したのだけれども、奥さんが寝ているから旦那さんが「私に対応します」とかね。よく見えなくなっている。</p> <p>そこで、この12地区といっても地区ごとにいろいろ状況が違ってくると思いますが、これからもこういう話し合いが続けられていくということで、段々にまた皆様いろいろ検討したり、いいほうに向かっていくのではないかとやっぱり委員Eと同じように期待を抱いております。</p> <p>私は大網白里市出身でそこから通ってきているんですけど、東金市には素晴らしいものがたくさんあって、大網よりすごいなと思って毎日感心しております。</p> <p>それで、このテーマ「自然豊かな郷土で 市民が支えあって めくもりあふれるまち」という、この言葉に負けないようなものを。市民、子ども、それから障がいを持つ子ども、それから家庭が貧困などといいますか、若い世代のほうにヒアリングをぜひとも願えればと、私はこの冊子を読ませてもらいまして感じました。やっぱり「めくもりあふれるまち」というところが少し若者には離れているような気がしますので。</p>
<p>委員H</p>	<p>日々現場で高齢者の方たちと接して15年くらいケアマネをしておりますけれども、家庭独居だったり、高齢者世帯が本当に増えてきていて、あと、お子さんがいても親は親、子どもは子どもという考え方が本当に10年前のものすごく変わってきているという実感を感じます。</p> <p>そういった中で、やはり地域の力だったりというのはすごく大事だと思います。それで、私たちの法人もやはり地域とのつながりをすごく大事にしていこう、つながりたいということで、長寿会に参加させて頂いたり自治体の行事に参加したりということを今進めております。</p> <p>私たちみたいな法人や、施設や、専門職などがこれから地域のために関わられるような指針がこれでできていって、私たちも迷わずに一緒にやっていけるようなものが作れるといいなと考えておりますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>委員I</p>	<p>皆様方のお考えを聞いていて、私も同感をしております。先ほど、地区住民の区の加入率が少ないと。今私の住んでいるところは実態は42%なんです。</p> <p>そうすると、残りの区費を払わない58%の人たちは、境遇に恵まれていない人とかいるんですよ。ところが、その人のところには広報もいかない、回覧板も回らないんです。これは非常にネックですね。</p> <p>ですから先ほど委員Fがおっしゃってましたけど、民生委員が訪ねていっても、ノックをしても応答しない、出てこないんですよ。母子保健</p>

<p>委員 J</p>	<p>推進員さんが行っても出てこないんですよ。これが実態、かなり厳しい実態ですよ。だけど、このペーパーの中にはそういうことはあまり出てこないんですよ。これは目標ですから、きれいな絵を描いていますね。ところが実態は全く真逆のすごく暗い部分がある。いっぱい隠れていると思います。</p> <p>また、先ほど委員Eやほかの方々も若い人の意見が欲しいよ、と。若い人は言えば分かるんだろうけど、なかなか興味を持っていない。だったら、興味を持たせるならどういう方法があるのか。これは考えなければならぬことだなという意見があります。</p> <p>それから、12 区の区別、区長さんたちはみんな入っているから、12 分割でもいいのかなという気もしますよね。自分の下部組織へどんどん流していけば伝わるわけけれども、その連携をこれからできるかどうか。これがみそかなという気がします。</p> <p>私はボランティアの立場で発言ということなんですけれども、このアンケートについて、やはり若い方は全然回収率が低い。多分 2,000 通は年代別にお手紙を出して頂いていると思うんですけれども、回答して下さる方の半数が高齢者の意見なんですよね。ですから、この回答についても高齢者の方は東金市のほうからの依頼ならば何でもするというような感じを受け取るんです。</p> <p>私たちもボランティアをしていて、この活動の報告などに出しておりますけれども、地区社協を支えている下には結構ボランティアの人たちがいて、今 市のボランティア連絡協議会に加入している 400 名くらいの方もほとんどが地区社協を支える活動なんですけど、高齢化してきて、事業を支えていくということは意外と大変ではないかと思えます。</p> <p>グループごとにやっている活動のボランティアさんというのはあまりボランティア連絡協議会に加入されなくて。ボランティアをしてもいいんだというようにアンケートで答えているような方も何パーセントかいらっしゃいますので、そういう方たちにお声掛けをどうしたら良いのかということを考えて、いろんなお便りで「参加しませんか」と地区ごとには募集していると思うんですけど、なかなか。</p> <p>今 60 代の方も個人的にお声掛けしてもなかなか、仕事優先でこういうボランティア活動はできないと断られているのが現状なんです。それをどういうふうに、私たちと活動していただけるかが問題じゃないかと思っております。</p> <p>先ほど社協よりも東金市を頼る、頼りたいというご意見がたくさんありましたけれども、私は田間なんですけど、加入している方が半数くらいしか区にいない。頼る人がいないわけですので、やはり地区社協と話し合うというよりは市のほうを頼っていらっしゃるのではないかなと思えますので、区に入る方の加入率を上げて、それからこういう活動もしていった方がいいんじゃないかなと思っております。</p>
-------------	---

<p>委員K</p>	<p>今日は公募という形で参加させて頂きましたけれども、地域福祉計画、地域福祉活動計画という中で、課題の老人福祉とか子どもとか介護とかいろいろな問題がたくさん山積みの中で、それを1つにまとめるとは、大きい仕事のところに来てしまったなということが私の第一の感想です。ただ、皆さんの経験の中で、委員Fとか委員Jとか、委員Iとかがおっしゃった中で私も思うのですけれども、こういうことをやっていく目標はとても分かるんですが、やっぱり、一番手を貸してもらいたい人たちがたくさんいる、その人たちのほうに目をもっと向けて頂きたいなと感じております。</p>
<p>委員L</p>	<p>私もあまりボランティア活動とか大きなことをしていないのに出席させて頂いてちょっと恐縮しているのですけれども。福祉計画というのが東金市全体均一に行われる計画なのかなという頭があったものですから、各地域の特性を生かして活動をしていいということは随分恵まれているなと思いました。</p> <p>ただ、計画や実行される地区社協の方たちが、ある面とても大変だろうなということと、資金面が自由であれば活動がしやすいけれども、その辺の配分がどうなるだろうという心配をしております。</p> <p>これからもどういう形でご協力できるか自分でも一生懸命考えて参加させて頂きたいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ご参加頂きました委員の皆様から一言ずつ頂きました。このようなメンバーでまた今後策定員会を進めていきたいと思っております。</p> <p>最終的に、本日の協議につきましてはこれでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>[異議なし、委員全員了承]</p>
<p></p>	<p>[司会を事務局へ]</p>
<p>事務局</p>	<p>[事務連絡] 今後の日程の説明及び報酬について</p> <p>[閉会]</p>